

ひらまな読書アクションとは!?

今回の記事を書いた人/
図書館スタッフK・K

つだ、菅原、御殿山、楠葉の4センターのスタッフが気になる本を読みそこで感じたことを通して何か行動を起こすという
枚方まなびつながりプロジェクト(初)の合同企画。今回は特別に図書館スタッフが挑戦しました!

※他センターのひらまな読書アクションは各センターホームページのセンターだよりでご覧いただけます。

★読んだ本/作者

「丸小ビーズでコロンと作る とりたま」

市川ナヨミ/ブティック社

★内容紹介

ビーズで作った、玉のようにコロンとした鳥のマスコット「とりたま」を紹介。
まんまるの小鳥たちが、いろいろなコスチュームで変身。ストラップや部屋のインテリアとしても最適。作り方を写真と図で分かりやすく紹介。



★この本を選んだ理由

手持ちの本の中でも特に作品のアレンジがしやすく、今回に限らず普段からよくお世話になっています。

★感想

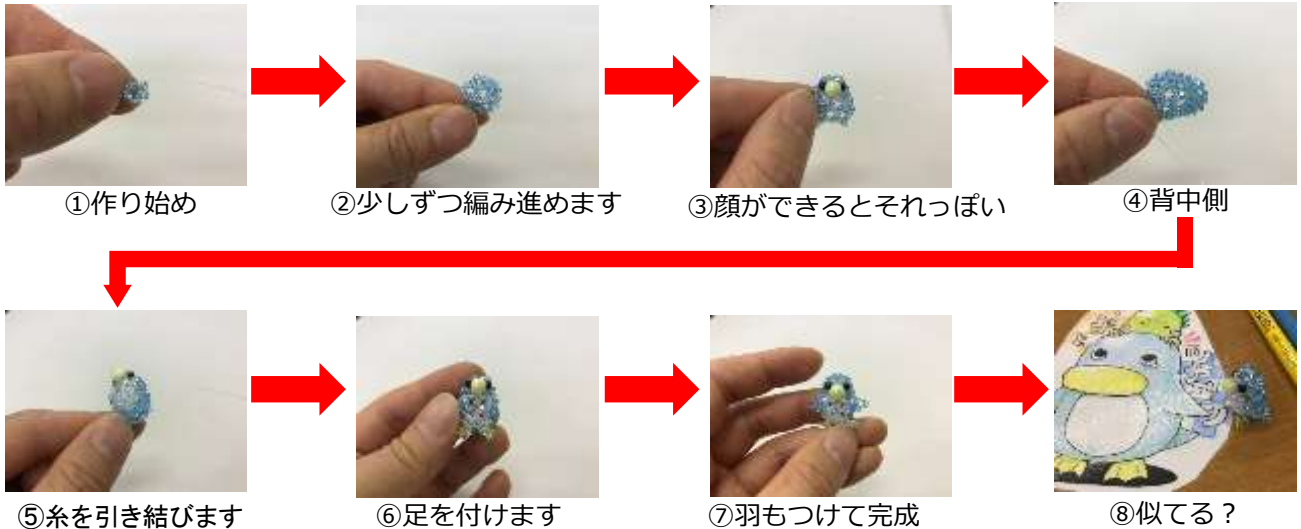
基本的な制作工程はほぼ全作品共通で、編み図自体もシンプルで使いやすいです。
いろんな種類の鳥作りに応用できるのも楽しく、プレゼントなどにしても喜ばれます。

今回のアクション!・・・ビーズでツナゴンをつくる!

★このアクションにした理由は…?

図書館では新型コロナウイルス感染防止の観点から、休館や館内利用制限の期間が長く続きました。通常業務ができない時間を利用し、手持ちの本の中からもたまたま手に取ったこの本を読んでみると、リブネットのイメージキャラクター・ツナゴン(ペンギン)が思い浮かびました。ツナゴンをビーズで作り、その制作過程を動画に収め、配信していこうと思いました。

★レッツチャレンジ!!



★感想

基本的に丸っこい鳥のような格好のキャラクターだったので、元のとりたまに手を加えて姿を似せるのは比較的簡単でした。
反面特徴に乏しく、目元の造作や相棒のマー子(写真8枚目参考、緑色の恐竜っぽいキャラクター)も再現が難しかったので、ただの色の薄いペンギンっぽくなってしまったのは残念です。今回作成した動画は津田図書館のホームページで見ることができますので、興味のある方は是非ご覧ください。

楠葉生涯学習市民センターの「読書アクション!」をちょっとのぞき見…

● 読んだ本

「イチバン親切な
魚料理の教科書」

川上 文代 著/新星出版社



● 楠葉のアクション! お刺身の盛り合わせに挑戦!

昔、魚を扱う仕事をしていて、今でもたまに魚を丸ごと一尾家で捌いて料理を楽しんでいる所長。見やすくわかりやすい写真をお手本にお刺身の盛り合わせに挑戦しています。楠葉の所長の包丁の腕前は「くずはだより8月号」で見られますよ!

